

はじめに（計画書発刊にあたって）

利尻富士町教育委員会

委員長 桂 晃 洋

元気な「まちづくり」の主役は、ここに住む我々町民です。その主役である「人」を育む上で、生涯学習は大きな役割を担っています。少子高齢化社会の進行、情報通信技術の目まぐるしい発達など変化の激しい時代の中で、60年以上続いた教育基本法が平成18年12月に改正され、新たに生涯学習の理念が加えられました。

これからの新しい時代の生涯学習は、趣味や教養にかかわる学習機会の充実だけでなく、地域住民が自ら地域の課題解決に積極的に参画していく「新しい公共」の視点に立った活動がますます重要とされています。

このたび策定された新しい利尻富士町生涯学習推進計画は、平成23年から32年までの今後10年にわたり、生涯学習を推進していく上での目標が示されております。策定に当たっては、社会教育関係団体、教育関係団体など様々な分野から選ばれた、生涯学習の実践者17名が1年間にわたり慎重な審議を行った後、策定されたものです。

本計画に基づき、スローガンである「明日をになう、心豊かな人づくりと、文化を育むまち」を実現するため、人材、伝統、文化、自然などのあらゆる教育的資源を活用し、生涯学習活動を推進していただきますよう、行政をはじめ、関係機関、各団体にお願い申し上げます。それらの活動を通して、利尻富士町新まちづくり総合計画で掲げる将来像「ふるさとの元気と輝きをもとめて」が具現化されると、大きく期待するところです。

最後になりますが、ご多忙の折、ご尽力を賜りました策定委員の皆様、心からお礼を申し上げます。

平成23年 3月

生涯学習の必要性和重要性

「生涯学習」とは、一般には、人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられます。

生涯学習の考え方は、1965年にユネスコ^{*1}でポール・ラングランが提唱して以来、教育の分野のみならず、広く社会や人々の生活にも影響を及ぼし、今や多くの国で教育を考える基本的な理念となっています。わが国では、平成18年に教育基本法が改正され、その第3条に「生涯学習の理念」が新たに規定されたことで、生涯学習社会の実現へ向けて具体的な取り組みがより一層求められる時代となってきました。

当初の生涯学習は、労働時間の短縮などによる自由時間の増加や所得水準の向上、平均寿命が伸びたことなどを背景に、余暇の有効利用や自己啓発、生きがいづくりなど「個人の要望」を中心に進められてきました。しかし、その後の少子高齢化の急速な進行、技術革新による情報通信技術の目覚ましい発展、国際化、経済構造・社会制度の変革、人々の価値観の多様化、国や自治体の財政状況の変化など、生涯学習を取り巻く環境は大きく変わってきています。

平成20年中央教育審議会「新しい時代を切り拓く生涯学習の振興方策について」～知の循環型社会^{*2}の構築を目指して～（答申）では、「社会変化に対応していくためには、自ら課題を見つけ考える力、柔軟な思考力、身に付けた知識や技能を活用して複雑な課題を解決する力及び他者との関係を築く力に加え、豊かな人間性等を含む総合的な「知」が必要となる。また、その他、自立した個人やコミュニティ（地域社会）の形成への要請、持続可能な社会^{*3}の構築への要請等を踏まえ、生涯学習振興の必要性が高まっている。」として、「個人の要望」を踏まえるとともに「社会の要請」に応えていくことが求められています。

これからの時代の生涯学習は、一人一人が生涯を通じて学習を行い、学んだことを地域に活かすことで社会全体の教育力が向上する「知の循環型社会の構築」が求められています。また、新たな「社会の要請」として、教育や子育て、まちづくり、福祉等、今まで「官」が主として担ってきた分野において、地域の人々が参加し、「官」の代わりにそれらの分野を担っていくという「新しい公共」の実現が求められています。活力ある地域づくりの実践やそのための学びの活動として生涯学習が今後ますます重要となっています。

*1 ユネスコ：国際連合教育科学文化機関（UNESCO）

*2 知の循環型社会：自らのニーズに基づき学習した成果を社会に還元し、社会全体の持続的な教育力の向上が行われる社会

*3 持続可能な社会：現代の世代が、将来の世代の利益や要求を充足する能力を損なわない範囲内で環境を利用し、要求を満たしていくとする理念。持続可能な開発とも。

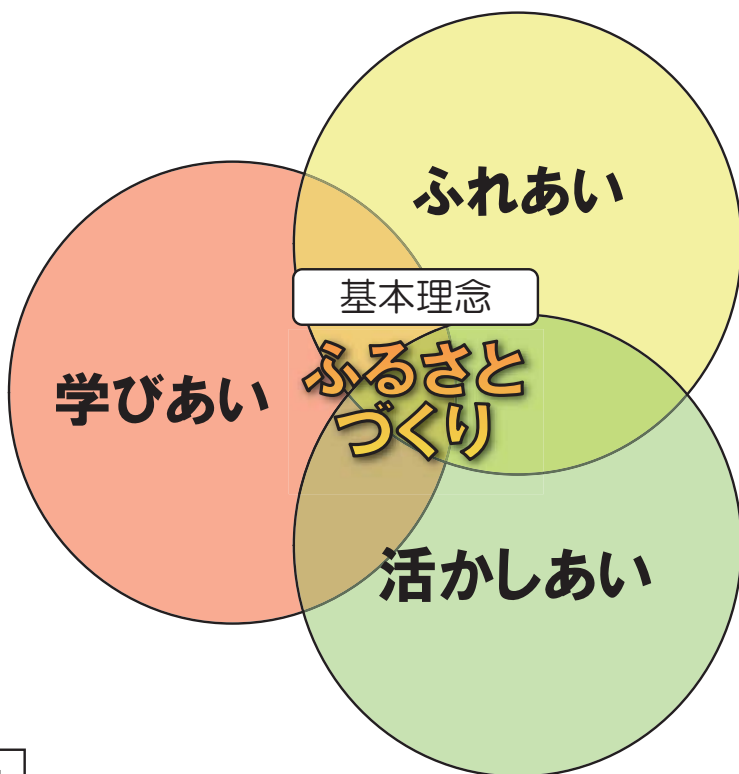
スローガン

明日をになう、心豊かな人づくりと、文化を育むまち

利尻富士町町民憲章

- ・元気で働き 伸びゆく 豊かなまちにしましょう
- ・たがいに助け合い 親切で あたたかいまちにしましょう
- ・きまりを守り 力をあわせて 明るいまちにしましょう
- ・教養をたかめ 心ゆたかな 文化のまちにしましょう

(昭和54年4月1日制定)



利尻富士町教育目標

- ・健康な心身をきたえ たくましい実践力をもつ人
- ・心あたたかく敬愛の念をもち 豊かな社会を築く人
- ・進んで知識や技能を高め 創意ある生活を目指す人
- ・勤労を尊び 自らの仕事に誇りと喜びをもつ人

(昭和54年4月18日制定)

「利尻富士町新まちづくり総合計画」より

基本目標

学びあい

ふれあい

活かしあい

重点施策	重点項目
家庭教育の充実	家庭の教育力向上を促す啓発活動
	子育てに関する学習機会や交流機会の充実
	関係機関や団体との連携
学校教育の充実	創意工夫を生かした特色ある学校経営
	「生きる力」をはぐくむ教育課程の充実
	教育諸条件の整備・充実
社会教育の充実	幼児教育の充実
	少年教育の充実
	青年教育の充実
	成人教育の充実
	高齢者教育の充実
生涯学習推進体制の整備・充実	学習情報の管理と相談機能の充実
	生涯学習拠点施設の整備

地域で子どもを育てる体制作り	子育て支援活動の推進
	家庭・学校・地域の連携
	地域の教育素材を活用した取組みの推進
文化・芸術活動の推進	文化財の保護と活用
	芸術鑑賞機会の充実
	関係機関や団体との連携
健康づくり・スポーツ活動の推進	生涯スポーツの振興
	スポーツ環境の整備・充実
	関係機関や団体との連携

学習者の育成・支援	学習ニーズの把握と情報の周知・活用
	図書室機能の整備・充実
	自主学習サークルの育成・支援
地域人材の発掘	指導者、支援者の確保・充実
	学んだことを活かせる環境整備
	次世代リーダーの育成
「新しい公共」の観点による社会参加の促進	ボランティア活動の推進
	地域振興への参加促進
	関係機関や団体との連携

策 定 の 背 景

1 少子・高齢化の進行

日本の総人口が減少局面を迎えており、全国的に人口減少・高齢化が進行しています。本町においても、総人口が平成23年1月末現在の2,929人に対し、新まちづくり総合計画によると平成27年には2,594人、高齢者人口率は36.6%まで高まると見込まれています。

また、札幌周辺をはじめとする都市部への人口集中、地方の人口減少に伴うコミュニティ機能の低下、地域の基幹産業、商工業者の担い手の減少・高齢化などの状況が続いています。

2 環境問題の深刻化

地球温暖化をはじめ、地球規模で解決が求められている環境問題に対し、自治体、企業をはじめ全国的に防止対策が進められています。本町は、全国的にも有数の豊かな自然環境に恵まれており、良好な形で次世代へ引き継いでいく事は、私たちの重大な使命です。

今後、私たちの生活様式を見直し、環境への負荷の少ない環境重視型社会を率先して築いていくことが求められています。

3 情報化社会の進展

科学技術の発展とともに、情報通信技術も格段に飛躍し、インターネットの普及はもちろん、新たな通信機器を活用したモバイルネットワーク*1が急速に進んでいます。島内に人口が分散している本町では、医療や教育など様々な分野で効果的に情報通信を活用することが求められています。

一方、急激な情報化社会の中で、情報取得が困難な方々に対する対応、個人情報の漏えいや、有害情報の氾濫など新たな問題も表明化してきています。

4 経済・社会の構造変化

市場経済が世界的に拡大したことによって、経済的なグローバル化*2や貿易自由化の流れがより一層進展しています。このような貿易自由化の進展に伴う国際競争の激化などにより、本町の基幹産業である漁業に影響が及ぶことが考えられます。

一方、市場として欠かすことのできないアジア経済の発展は、競争が激しさを増す反面、「食」や「観光」など様々な分野で新しい発展が期待されます。

5 「新しい公共」の実現

社会情勢が激しく変化する一方、少子高齢化が進み、成熟期に入った日本社会では、これまでのように、政府がカネとモノをどんどんつぎ込むことで社会問題を解決することはできません。「新しい公共」とは、「支え合いと活気のある社会」を作るため「国民」「企業」「政府」等が一定のルールとそれぞれの役割を持って当事者として参加する「協働の場」です。これからは「官」が独占してきた領域を「新しい公共」に開き、住民自身が「お上」に依存することなく、当事者として社会を作る主体であるという気持ちを新たに、地域住民が積極的に公共的なサービスの提供主体となり、共助の精神で活動する「新しい公共」の実現が求められています。

(平成22年6月「新しい公共」円卓会議：「新しい公共」宣言より抜粋)

*1 モバイルネットワーク：技術の進歩によって小型化され、人が携帯できるようになった電子機器（携帯電話・ノートパソコン・スマートフォンなど）によって行うインターネットなどのコンピューターネットワーク

*2 グローバル化：資本や労働力の国境を越えた移動が活発化するとともに、貿易を通じた商品・サービスの取引や海外への投資が増大することによって世界における経済的な結びつきが深まること。